

大和コアファクトリー



共に創る。共に生きる。

大和コアファクトリー株式会社
CSRレポート 2012



CSR経営の基盤

トップコミットメント

「人に優しく、地球に優しい生産活動」を通じて、社会貢献活動に取り組みます



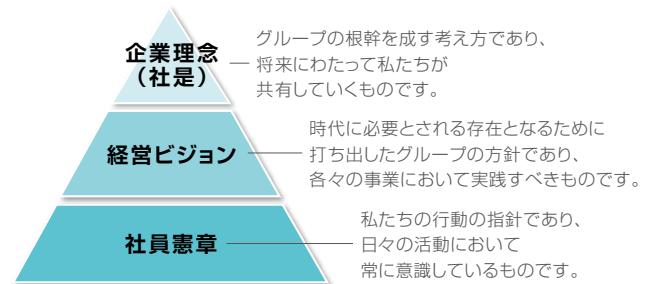
大和コアファクトリー株式会社
代表取締役社長

小田 修司

当社は2011年10月1日に4社が合併して「ものづくり」に特化したグループ会社として新たなスタートを切りました。大和ハウスグループの「建築の工業化」の理念の下に全国5箇所まで工業化住宅の部材生産を担っています。大変厳しいビジネス環境ではありますが、大和ハウスグループの、そして社会の一員として環境と社会との共生を基本に新たな価値創造に向けて社員・家族並びに関係する全ての方々と共に「お客さまに満足していただける製品づくり」、「地球に優しい生産活動」、「安全・安心の中で楽しく活動できる、人に優しい職場環境づくり」に継続的に取り組んでいきます。

CSR理念体系

大和ハウスグループの理念体系は、企業理念（社是）、経営ビジョン、社員憲章の3つで構成されています。その理念体系をもとにCSR指針を策定しています。



企業理念（社是）

- 一. 事業を通じて人を育てること
- 一. 企業の前進は先づ従業員の生活環境の確立に直結すること
- 一. 近代化設備と良心的にして誠意にもとづく
ろうどう 労働の生んだ商品は社会全般に貢献すること
- 一. 我々の企業は
我々役職員全員の糸が乱れざる団結と
たゆまざる努力によつてのみ発展すること
- 一. 我々は相互に信頼し協力すると共に
常に深き反省と責任を重んじ
積極的相互批判を通じて
せいせい せいせい だいたい だいたい まいおう まいおう
生々発展への大道を邁進すること

企業情報

会社概要

- 本社所在地 〒701-2216 岡山県赤磐市多賀2056
- 設立年月日 1997年10月1日
- 事業内容 住宅部材の製造
- 従業員数 254名（2012年4月1日現在）
- 売上高 1,711百万円（2012年3月期）

経営ビジョン

心を、つなごう

私たちは
「人・街・暮らしの価値共創グループ」として、
お客様と共に
新たな価値を創り、活かし、高め、
人が心豊かに生きる社会の実現を目指します。
そして、お客様一人ひとりとの絆を大切にし、
生涯にわたり
喜びを分かち合えるパートナーとなって、
永遠の信頼を育みます。

社員憲章

私たちは、
「人・街・暮らしの価値共創グループ」の
社員として

- 一. 品質、技術、情報力の向上に努め、
環境に配慮した安全で確かな商品、
安らぎとくつろぎの空間を提供します。
[企業の視点]
- 一. 誠意をもってお客様と向き合い、
感動と喜びを分かち合います。
[お客様の視点]
- 一. 社会規範に基づく公明正大な行動により、
社会的評価を高め、企業価値の向上に努めます。
[株主の視点]
- 一. 感謝の気持ちを忘れず、公正であることに努め、
取引先と共に成長・発展を図ります。
[取引先の視点]
- 一. 仕事を通じて自らの成長と幸せを追求します。
[社員の視点]
- 一. 「共創共生」を基本姿勢に、
心豊かに生きる暮らしと社会の実現を
目指します。
[社会の視点]

大和ハウスグループCSR指針

社会性・環境性・経済性の3つの側面から、バ
ランスのとれた事業活動を意識するとともに、ステ
ークホルダー（利害関係者）と誠実に向き合い、企業
市民として社会の要請に応え続ける。

1. 独自技術・ノウハウにより事業を通じて社会に
貢献する。
2. ステークホルダー（利害関係者）との関わりや
対話を通じて当社に対する要請を理解し、企業
市民としてそれに応えるよう努める。
3. 企業倫理・人権・コンプライアンスの確立に
努める。

共に創る。共に生きる。

私たち大和ハウスグループは、
事業を通じて社会と共にあること、
そして商品やサービスを通じ、暮らす人と共にあること。
この「共創共生」の姿勢を持ち続け、
誠実に社会と向き合うことが大切であると考えています。

大和ハウスグループCSR自己評価指標の6つの視点

CSR自己評価指標は、重視する6つの視点に立ち、大和ハ
ウスグループのCSR活動の成果を測定し、改善し続けるため
に2006年度より導入しています。



CSRを推進する組織について

CSR理念を社内全体に浸透させるべく活動をしています

大和ハウスグループの企業理念・経営ビジョン・社員憲章に基づき2008年4月CSR推進委員会を設置し社長を委員長とし9名で構成しています。CSR推進委員会は社内へのさらなる浸透を図るため、社員とのコミュニケーションを行っています。

また、地域と一体となって社会貢献活動に積極的に参加し、継続的に実施しています。

コーポレートガバナンスについて

コーポレートガバナンスの方針

当社は、コーポレートガバナンスを経営上の重要課題として捉えています。

経営の透明性、健全性、遵法性の確保また迅速かつ適切な情報開示を企業理念とし全役員・従業員で人権の尊重・法令遵守・環境保全・労働安全を掲げ経営体制を確立することを基本姿勢としています。

この基本姿勢のもと、当社では取締役会7名の構成において大和ハウス工業から2名の取締役、1名の監査役を入れた組織体制としています。

また、取締役で決定された事項については維持・管理・活動する組織として経営会議やリスク管理委員会を設置し、コーポレートガバナンスの強化に努めています。

コンプライアンス、リスクマネジメントについて

あらゆるリスクに対応できる組織づくりを目指します

当社は、お客さまからのお申し出に対して迅速に対応し、お申し出内容を全社で共有して業務の改善・改良につなげるため、2009年12月に「リスク管理委員会」を設置しました。

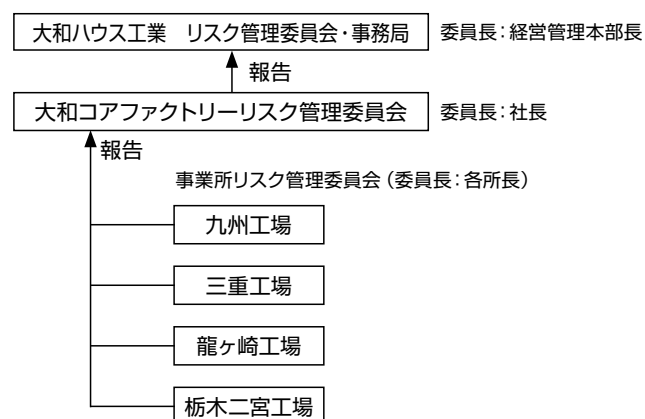
現在は「大和ハウスグループリスク管理規定」に基づくグループを横断するリスク管理体制の中の一員として、社長を委員長、本社の各部門長を委員として大和コアファクトリーの統括機構とし、各事業所にて発生したリスク情報を集約して大和ハウスグループへの報告とともに、具体的な対策の決定から社内への水平展開、業務の改善・改良の検討、リスク発生の予防活動に取り組んでいます。

法令遵守を基本に活動を行っています

当社は、大和ハウス工業リスク管理委員会事務局からの情報を基に、グループ全体で発生するさまざまなリスク案件を当社に置き換えて、危険予知の方法や発生の要因を具体的に検討してリスク発生を予防しています。

また、法令遵守の観点から長時間労働の問題に重点を置き、職場環境の見直し等を実施して改善に努めています。残業時間を減少させるために生産方法を変えてみたり生産量の均等化を行ったり、働きやすい職場づくりを目指しています。

[リスク情報伝達組織図]



社会との共創共生

事業を通じた社会への貢献について

環境保全を念頭におき、さまざまな取り組みを行っています

当社は、一般住宅・集合住宅の製品を製造している企業であり、原材料から製品になるまで一貫した生産を行っています。原材料からの生産はその過程においてさまざまな廃棄物が発生します。そこで産業廃棄物の発生を低減させる為、徹底したリデュース・リユース・リサイクルの管理を行い廃棄物削減に努めています。

また、昨今の電力不足に鑑み、事務所、生産現場での電力削減に取り組んでいます。昼間の最大使用電力を下げるため、各生産ライン毎の昼休み時間をずらして各ラインの生産稼働時間をずらす方法を取り、ピーク電力使用量削減を図っています。

地域社会における社会貢献について

交通安全活動

毎月10日と25日に大和ハウス工業、大和物流と3社交代で工場近くの交差点において交通啓発活動を行っています。

小中学生の通学路にもなっており、こどもたちとの挨拶を通し地域交流としての活動にもなっています。



通学路での交通啓発活動

環境清掃活動

年に一度協力会社16社で工場外周の町道の清掃活動を行っています。



工場周辺の側溝掃除

社会貢献活動

岡山県内のグループ会社による社会貢献活動として、毎年花火大会の翌日に清掃活動を行っています。



花火大会後の清掃活動

お客さまとの共創共生

お客さま満足度向上にむけた取り組み

お客さま重視の製品づくり

当社は、お客さまの満足度向上に向けたより良い製品を生産するために、生産に携わる社員に対して社内認定制度を設けたり、多能工化による効率アップを図るなど、品質の向上に努めています。

また、効率アップによる原価低減を通して販売価格の減額につなげ、お客さまのニーズに合った製品を生産しています。

品質への取り組み

品質管理委員会の開催

当社は、お客さま満足度を向上させ、品質改善を強化するため、毎月大和ハウス工業と合同で品質管理委員会を開催しています。

工場で起こっている問題点の共有および周知徹底を行い、「品質は工程でつくりこむ」で全工程を対象とした品質管理を推進しています。

当社では、組織の体質強化および人材育成を目的とした品質管理手法の取得を積極的に進めています。

日本規格協会が主催する品質検定（QC検定）2級、3級を多数の従業員が取得しています。

取引先との共創共生

作業環境の労働安全

活動を通じて安全意識を醸成

災害を未然に防止する為に全員参加の安全活動としてヒヤリハット・キガカリ報告、KY活動を通じて危険源の拾い出しリスクアセスメントを実施しています。

またその情報を共有し、類似箇所の点検をして再発防止の為に安全対策に取り組んでいます。

一人ひとりが安全意識を持って危険の芽を摘み取り、安心して楽しく活動できる作業環境づくりを推進しています。



KYK※

※KYK：大和コアファクトリーのKYK

毎日、始業時のミーティングで、職場や作業に潜む危険のポイントを指差呼称し、危険性を再認識して事故や災害を未然に防ぎ、安全性を高める活動。

従業員との共創共生

人財育成

スキルアップ教育

当社では現場作業者に対して、その能力を十分発揮できるようにOJT教育を中心に計画的な教育や育成異動を実施しています。また製造技術のスキルアップ教育（社内外）を通じて設備改善ができる人財を育成しています。

また従業員の自己啓発意欲や資質の向上を図るため、資格取得を積極的に推進しています。

雇用について

高年齢者の継続雇用制度の推進

高年齢者雇用安定法の改正（平成18年4月1日施行）により継続雇用制度を導入、定年後5年間の再雇用を見直しました。

これによって、熟練した技術や経験・ノウハウを引き継いでいくことで、社内での後継者が十分に育ち、また安定した雇用へとつながっています。

人権尊重

人権教育

当社では、一人ひとりが人権について考えてもらう為、受け身の研修ではなく参加型の研修などを取り入れて全従業員に対して年2回の研修を継続的に行っています。

また2006年より本社に人権啓発推進委員会を設置しており、同委員は意識向上のため各種研修会等に積極的に参加し、社内の人権啓発に努めています。

健康への配慮

定期健康診断の実施

2012年度の定期健康診断の受診率は100%を達成しており、有所見者の二次検査も100%の受診率です。

健康改善研修を実施することで社員の健康改善を促進しています。

2013年度はメタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少率を10%と定め、社員の健康をサポートします。

大和コアファクトリー

岡山県赤磐市多賀2056 〒701-2216 Tel 0869-57-9008(代表)

「エンドレスハート」は、大和ハウスグループの経営のシンボルであり、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
© Copyright 2012 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO., LTD. All rights reserved.